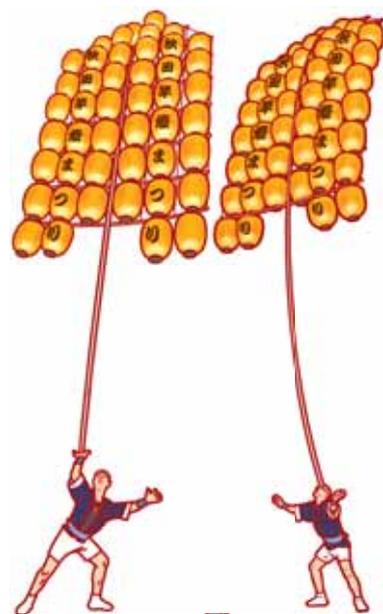


Fureai

Fujita Related All Information

2021 9.1
Vol.
284



【新所属長3名より挨拶】

安全・安心な 職場環境作りを 目指して

【お知らせ】

新型ウイルスワクチン接種時の
勤怠取り扱いについて

確定拠出年金 商品ラインナップ拡充のご案内

新所属長挨拶

2021年7月1日付けで任命された3名の新所属長よりご挨拶。自身のプロフィール、今後の目標や課題などを語っていただきました。



経理部 部長
寺尾 敏志

財務基盤の構築・仕組みを作り 事業部から頼られる存在に

この度、7月1日付けで経理部部長を拝命いたしました寺尾敏志です。
まずは自己紹介をいたします。2002年入社、当時子会社だった「美地金」に配属され1年半ほど子会社の経理・総務事務を担当、2003年9月には同建屋内の関東支店との合併により関東支店の業務へ。2005年には燕支店へ異動し業務を担当、2011年から営業を2年半ほど経験したのち、2013年に経理部へ異動し財務経理を

担当、2018年に経理財務チームリーダーを経て、現在に至ります。
その間、様々な経験をさせていただきました。子会社の税務申告や採用活動、関東支店との合併、燕支店ではツケルパブルと崩壊に伴う鋼材価格の乱高下、SCS導入では主に製造原価計算の仕組み構築を担当。また営業ではステンレスの他、鉄などの多品種販売や加工品販売、経理部では資金調達や決算税務申告及び監査法人の会計監査対応などを担当しました。これまで様々な仕事を経験できたことが、経理の仕事をする上でとても役に立っていると感じます。これまで私をご指導いただいた諸先輩方には心より感謝申し上げます。

経理部の本中期経営計画における課題は、会社の継続的發展に必要となる各事業部の投資戦略のサポートと、財務基盤強化により投資と財務をバランスさせることです。投資判断に際し定量面での情報が重要であり、その仕組み作りの一環として昨年度より管理会計制度の変更を進めています。各営業店の活動の成果を数値として捉え、投資について効果の把握を行い、PDCAを回していくことが重要だと考えております。

もう一つの課題は、やはりDX（デジタルトランスフォーメーション）への対応です。経理部においても電子帳簿保存法の改正や電子請求書など新しいサービス、また税務・会計基準の変更などの対応について事業部と連携しながら効率化を進めていきたいと考えております。

最後に、皆さんが安心して仕事に取り組めるように、リスクに対応できる財務基盤の構築や変化に対応した仕組み作りを通し、事業部から頼られる部門にしていくことを私の目標とし、誠心誠意努力して参ります。今後とも宜しくお願いいたします。

安全・安心な職場環境を 皆で協力して作り上げる

この度、7月1日付けで三条特殊鋼センター所長を拝命いたしました小杉直人です。
このような大役を仰せつかり不安でいっぱいですが、前所長の方針を受け継ぎ、経験豊かな三条特殊鋼センターメンバーと共に更なる業績の向上に努め、藤田金屬の一翼を担いたいと存じます。

少し私の自己紹介をさせていただきますと思います。新潟生まれの新潟育ち、早いもので人生の折り返し地点を超えた年齢になってしまいました。小学生の頃からサッカーを始め、その楽しさのめり込み、大人になった今では指導者としてサッカーに携わっています。最初の頃は、自分の経験してきたことを押し付け、結果ばかりにこだわり、自分の思い通りにいかないことがあればそれを叱り、子供たちの考えや判断力を奪う最悪の指導者でした。しかし県内外チームとの交流、学びによって、全く性格の違う個性豊かな子供たち一人ひとりと向き合って、どう成長させていくかという考え方に変わり、指導方法も大きく変化しました。
それは今まさに自分が置かれている状況でもあり、三条特殊鋼センターメンバー一人ひとりのポテンシャル、モチベーションを更に引き上げるにはどのような声掛けをすれば良いのか。皆がのびのびと仕事ができる環境を作ることが、一つの大きな仕事だと思っています。

これからやるべきこと、勉強していかなければいけないことは山積みです。中期経営計画最終年度として、加工品拡販活動、既存事業の深化。なかなか思うような結果を出せていない状況です。より一層気を引き締め、取り組んでいく所存です。
そして何より一番に考えていかななくてはいけないことが安全です。5S、手で触る作業の撲滅、従業員の健康維持等々、安全・安心な職場環境を皆で作っていききたいと思っております。

営業2名、業務2名、生産6名、少ない人数ですがこそ、全員で協力し合い、活気のある三条特殊鋼センターにしていきたいと思っております。
皆様からのご指導・鞭撻をいただきながら頑張っていきますので、何卒宜しくお願いいたします。



三条特殊鋼センター 所長
小杉 直人



安全衛生推進室 室長
伊藤 晴雄

職場作りにも”動く変る“を “情報から知識へ変換”

皆さんこんにちは。この度、7月1日付けで安全衛生推進室室長を拝命いたしました伊藤晴雄です。

6月まで三条特殊鋼センターに勤務しておりました。入社は1990年5月、燕支店で営業、オーダーセンター、品質管理、県外営業と多様な仕事をさせていただきました。また新たな仕事です。
三条特殊鋼センター、燕支店時代は、薄板事業部・厚板形鋼部の事務所の方々と少し交流があ

り、私の顔を見たことがある方もいるかもしれませんが。しかし生産系の方々は見たことのない方が殆どだと思います。今後は工場へお邪魔させていただくことがメインとなります。気軽に声をかけてください。

原稿を書いている今、転動して1カ月半が経ちました。今まで三条特殊鋼センターで安全な作業環境作りを自分なりに進めてきたつもりでした。コンプライアンス監査を受ける立場から行う立場へ変わり、4件のコンプライアンス監査を実施。三条特殊鋼センターで行った対策、改善にまだまだ不足ありと思いましたが、具体的に「何が」が分かってきました。振り返ってみると、自分の安全衛生や危険に対する知識のなさを反省しています。情報として耳から入ったことを知識へ変換し、活用することができていませんでした。立場が変わった今の新鮮な気持ち、初心を忘れずに、皆さんと共に安全な職場環境作りを進めていきます。

実質的には環境改善を行うのは皆さんです。環境改善等のお手伝いになりますが、積極的にお手伝いさせていただきます。いろいろな疑問や手伝わしてほしいことを投げかけてください。県外営業を行っていた経験から、フットワークは軽いつもりです。

最後に若干、自己紹介です。趣味は写真撮影で、撮りに出かけることが好きです。プラス、ドライブ。
皆さんの知識向上のお手伝いをしていきます。共に安全安心な環境を作っていきます。皆さんご安全に!!

安全衛生活動

無災害にむけて

安全衛生推進室 担当者

約9年間、初代総括安全管理者として、私自身が感じてきたことや、理解できたことを書き記します。あくまで私自身の経験に基づくものであり、皆さんの今後の安全衛生活動に少しでも参考になればと思います。

取り組みを振り返る

これまで安全衛生担当として安全衛生活動に携わり、主に構内での作業者の労働安全に係る分野でしかなく、労働衛生管理や構内全体の安全管理(リスク管理)への対応は手を付け始めたばかりです。振り返れば当社の実質的な安全衛生への取り組みは、1988年頃から始まりました。事業所単位での安全衛生委員会開催義務付けや、ノーツ上への災害報告等の共有から始まり、その後「安全衛生プロジェクト」(現在の安全衛生推進委員会の前身)が開催され、安全コンサルタンツ起用決定や、全社共通の取り組み推進を図る方向へ転換されました。昨年からは新たな安全衛生アドバイザーを迎え、労働安全衛生のみでなく職場での事業存続を脅かすような各種リスク低減への取り組みとして、コンプライアンスを柱に据えた取り組みを推進してきたのがこれまでの歩みです。

効果について

効果について分かりやすい指標としては、発生災害の件数です。5年単位で見れば、1999年以前との比較では発生災害、社員の休業災害件数共に減少しています。但し、残念ながら2000年以降は発生件数の減少は停滞が続いています。これは全国的な傾向です。明らかに危ない状態の解消や、危ない行動の抑制は進みましたが、品質管理・生産性のみでなく安全衛生面も含めた多方面からの要求事項が増えてきたのが背景にあると理解しています。

人の注意力には一定の限界が存在します。動作の中であれもこれもと、注意力の意識を持ち続けることは至難の業です。

無災害を達成し、持続するために

ではどうすればこのような環境でも無災害を達成し、3年、5年と持続できるかです。

安全の定義は「許容できないリスクがないこと」です。社歴の長い社員はご存じでしょうが、朝礼時に次のような唱和を行ってきた時代がありました。「俺は一滴の血も流さないために、1対29対300の撲滅する」という唱和をしていました。1が労働災害としたら、背景には29の重大ヒヤリハット、300のヒヤリハットがあったと読み換えると分かりやすいでしょうか。

300のヒヤリハットの背景には3000以上のリスク(危険性)が存在していると思われ、これは人員や労働時間に比例し、作業の内容に応じて変化します。大半のリスクが災害へと結びつく確率は極端に低く、気付かないケースも多いと思われ。リスクの抽出ができたとしても、すぐに災害には結び付かないので適切な対策実施ができず、リスクアセスメントが完結していないものが多いです。作業者自身ができるリスク低減対策は手順遵守という行動の抑制となりがちですが、人の多岐にわたるエラーにより不安全行動を伴う労働災害は発生し、作業上のエラーをなくすことは至難の業です。

また、管理者も作業者がエラーを起こさず仕事をしてくれるものだと思いますが、一定の確率でエラーは発生します。労働災害をゼロにするにはエラーを起させないようにすることや、起こしにくいようにすることがポイントです。これは口で言うほど簡単ではなく、相当の知恵や工夫が必要となります。

エラーは知識・経験・技能不足からくる判断エラーや行動エラー、リスクテイキングやヒューマンエラーがあります。ヒューマンエラーは、疲労や失念、見間違いや勘違い、人間工学的な見地から咄嗟に反応する動作などによるエラーです。結果として現れるエラーのため事前対策が難しいです。抑制には皆さんの知見や経験が必要で、有効となる対策実行には相当の時間とお金を要することになります。

一方、不安全な状態を解消すれば、作業者のエラーが発生してもほとんどの労働災害は発生しないことになります。言い換えると、労働災害が発生しない限りは不安全行動が見逃され、不安全状態(いわゆる危ない状態)を認識しないことがありません。全ての不安全状態を解消することは、現実的には不可能ですので、重大事故や重傷事故に繋がるリスクの解消を優先して取り組み、労働災害やヒヤリハットが発生した際に、原因となった不安全行動と不安全状態をよく整理し、それぞれに有効となる対策の実行が必須です。

最後に

労働災害や事故は非常に低い確率で発生するものですが、重量物の取り扱いをしている当社としては他社より確率は高いです。重大事故や重傷事故に繋がるリスクを優先して改善しましょう。ここまで築きあげてきた取り組みも大事にし、PDCAを回していけば、「許容できるリスク」のみの藤田金屬となるでしょう。

皆さん、ご安全に！



確定拠出年金 商品ラインナップ拡充のご案内

この度、確定拠出年金(401K)をご利用の社員の皆さまのさまざまな資産運用ニーズにお応えするため、以下の通り第四北越銀行の商品ラインナップを拡充しますので、ご案内いたします。

◆追加する運用商品

現行プランにはない分類の商品(No.1、2、3)や、信託報酬を低めに抑えた商品(No.4、5、6)を中心に追加します。

No.	商品名	運用会社
1	投資のソムリエ(ターゲットイヤー2035、2045、2055)	アセットマネジメントOne
2	投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	アセットマネジメントOne
3	野村世界REITインデックスファンド	野村アセットマネジメント
4	DC日本債券インデックス・オープンS	三井住友トラスト・アセットマネジメント
5	野村日経225インデックスファンド	野村アセットマネジメント
6	インデックスファンド海外債券ヘッジなし(DC専用)	日興アセットマネジメント



上記から、No.1、2「投資のソムリエ」の特徴をご紹介します

確定拠出年金は、会社から拠出された掛け金を加入者(=社員)自ら選んだ投資信託商品で運用して将来の資産形成を行う制度です。

一方で、投資にはリスクが伴い、景気の減退局面などでは掛け金が時価を下回る、いわゆる「元本割れ」が発生する可能性もあります。この元本割れを回避し、安全に運用するためには「元本確保型」である定期預金を選択するか、投資市場の変化に応じて自ら掛け金の移動をするしかありません。しかし、投資に不慣れな人がそのような柔軟な運用を行うことは難しく、自然と「元本確保型」商品へ偏重傾向になっているのが現状です。「元本確保型」はリスクはありませんが掛け金はほとんど増えないので将来の資産形成には不向きと言えます。また、物価上昇局面では相対的に目減りしているとも言えます。

そこで、本来は加入者が行うべき資産配分の調整をファンドが行い、いかなる相場環境でも大きな損失を避けつつ、中長期的な安定運用を行うリスクコントロール型商品として「投資のソムリエ」の2商品を追加します。

No.1 投資のソムリエ(ターゲットイヤー2035、2045、2055)

常に資産配分を自動で調整し、リスクコントロールを行いながら加入者の退職年(ターゲットイヤー)に向けて、徐々に元本に対する目標リスク水準を引き下げていく商品。運用をある程度まかせつつ、定年間近での暴落などのリスクも確実に回避したい方におすすめです。

No.2 投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型

常に資産配分を自動で調整し、元本に対するリスク水準を2%(ちなみに現行ラインナップにある「投資のソムリエ」は4%)に抑えることを目標にして、大きな損失を避けた安定的な収益の確保を目指す商品。運用はしたいが何を選べば良いかわからない、大きなリターンはいらぬがリスクを最小化したい方などにおすすめです。

◆追加日…2021年9月1日

コールセンター<確定拠出年金ダイヤル> ☎0120-386-401

受付時間：平日9時～20時 土・日曜9時～17時(祝日及び12/31～1/3を除く)

残高照会・運用商品変更手続き・運用商品情報・運用シミュレーション

右記QRコードから飛びWEBページから、残高の確認や運用商品変更の手続きが可能です。

また、運用商品の詳細や、投資経験などに基づいた運用シミュレーションも可能です。

「(第四北越銀行)加入者専用サービスログインページ」(野村證券(株)提供)を開きます。

※加入手続き完了後に送付された「口座番号・パスワード」をお手元にご用意ください。

(再発行の手続きもこちらから可能です)



～お知らせ～

新型コロナウイルスワクチン接種時の勤怠取り扱いについて

新型コロナウイルスワクチンを就業時間内に接種した場合および、接種による体調不良時の勤怠の取り扱いについてお知らせします。就業時間内の接種を推奨いたしますので、ぜひご活用ください。

◆接種日の取り扱い

新型コロナウイルスワクチンを会社稼働日の就業時間内に接種した場合、移動、接種に要した時間については「就業扱い」とします。接種2回分までが限度となります。

◆接種による体調不良時の取り扱い

37.5℃以上の発熱や体の痛み等で就業が困難な場合、1回の接種につき、接種日当日と翌日に限り特定休暇(有給)を認めます。
※奉行勤怠申請は「有休特休申請」―「その他特休」で処理をお願いします。

◆適用の範囲

藤田金属および関係子会社(三和、共伸工業、ツチャ製作所)の従業員に適用します。

◆開始時期

本運用は2021年7月1日より適用を開始とします。

※この案内は、Notes掲示板にも掲載しています。
ご不明点ございましたら総務部までお問い合わせください。

